

The Rotary Club Of Shizuoka East

Weekly Bulletin 2022-2023



RI会長
ジェニファー・ジョーンズ



IMAGINE
ROTARY

静岡東ロータリークラブ

会長/山下勝央 幹事/杉山輝光

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
山下勝央

第 3049 回例会 令和5年2月2日

《司会》 杉山輝光 君

《合唱》 君が代、奉仕の理想

《ソングリーダー》 戸塚 敦雄 君

《ゲスト》

国際ロータリー第2620地区

パストガバナー 志田洪顯様

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

・お誕生日

2月1日 中島浩二 会員

・結婚記念日

2月3日 生田陽一 会員

《会長挨拶要旨》 山下勝央 会長



本日は第3049回例会となります。宜しく願い申し上げます。川崎会長年度の令和4年5月26日例会に卓話者として来ていただいた、「一般社団法人シズクリ」の山下由修先生のお話しをしたいと思います。覚えていらっしゃる方も多いと思いますが、このようなお話しから卓話がスタートしました。

「現在の静岡市の最大の課題は、若者の流出です。政令指定都市の中では一番の流出率です。つまり一度静岡を離れてし

まうと、もう静岡には戻らない。2019年に市内の高校一年生を対象にアンケートを行いました。静岡市内に本社のある会社を教えてください、の問いに46%の生徒は1社も書くことが出来ませんでした。つまり自分達が住む地域に、どのような会社があるのかも学ぶ機会も得ずに静岡を離れてしまうのです。そして彼らは必ず言います。静岡には働くところが無い、と…。その様な状況から高校生が地域の社会を学ぶ場が必要と強く感じ、一般社団法人シズクリを立ち上げました。山下先生とは、例会の後から山下同志で気が合い、新卒採用の相談をしたり、先生の苦労話を聞いたり、親しくお付き合いをして参りました。昨年の11月に山下先生から、2023年のシズクリ事業に企業として参加してみませんか、と声をかけて頂き「これも御縁だ」と思い快諾し、今週の2月4日よりプログラムがスタートします。今回の勉強会の説明を少しさせて頂くのですが、静岡市内の20人の高校生に日進電機の社員になったつもりで、日進電機おたすけ隊を将来どのように成長させていけば良いのか？集客をあげるにはどうしたら良いか？問い合わせをやすくする為にはどうしたら良いか？などを考えて頂きます。この20人の高校生をナビゲートしていくのは、日進電機の若手3人の社員です。つまり現役20人の高校生と弊社の社員3人が力を合わせて、日進電機おたすけ隊の未来を考え、発信していく。想像するだけでワクワクします。そして高校生20人の内、1人でも2人でも日進電機の事を知り、面接に来てくれたなら、これこそが山下先生の目指している若者の県外流出をくいとめる一助になるのだ、と思いました。

《幹事報告》

・第2回 静岡グルメ会のご案内(有志を募るお食事会)

日時:3月2日(木)17:30~19:30

場所:本家「あべや」静岡店8階

・浅畑川清掃のご案内

日時:3月25日(土)ヘリポート駐車場集合 9:30~

場所:静岡市葵区諏訪 静岡ヘリポート前の浅畑川

・国際ロータリー第2620地区 静岡第3グループIM

日時:3月26日(日)3F 駿府II 14:00~

場所:ホテルアソシア静岡

・令和5年 第1回あすなろ会ゴルフコンペのご案内

日時:4月4日(火)駿河コース 9:00~

場所:リバー富士カントリークラブ

【注意点】

・ロータリーの欠席報告は食事が無駄になってしまうのでその週の月曜日までに必ずご報告ください。

・3/26のインターシティミーティングは入会3年未満の方は出席義務がありますので必ずご参加ください。

【新入会員紹介】



飯塚潤会員

有限会社飯塚印刷の取締役を務めている飯塚潤です。

先日のクリスマス家族会にお招きいただきありがとうございます。非常に温かい団体で私の家族も、こんな所に入会できるのであれば本当に素敵な人間になれるんじゃないかという話をしておりまして、私も期待をして入会をさせていただきました。実は当時、長田先輩から話がありましたように青年会議所時代に卓話で東ロータリーにお邪魔したことがあります。その際にもやはり同じような印象を受けた覚えがあります。そんな中お声がけいただきロータリーの理念である愛と希望と夢と平和というキーワードに私自身非常に共感して入会いたしました。私自身、非常にま

だ若輩者でございます。大きいのは体ばかりではありますが、成長期と皆さまにはご理解いただき、ご指導とご鞭撻いただければと思います。皆さま、長い付き合いになると思いますけれども最後までどうぞ宜しくお願い致します。

《来賓卓話》

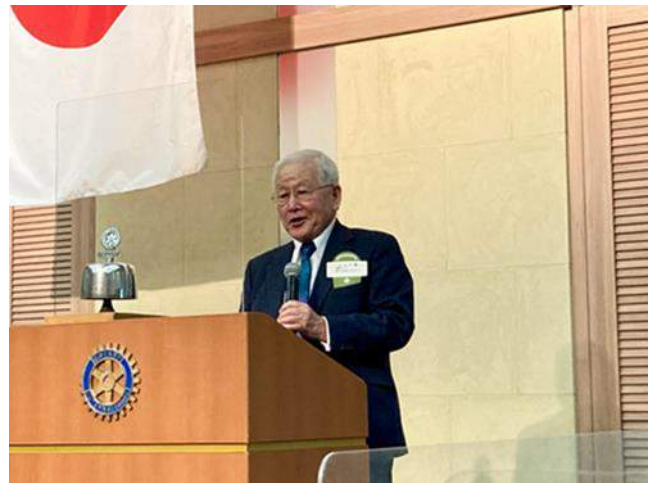
演題「クラブフォーラム 日本ロータリーの職業奉仕」

所属 国際ロータリー第2620地区

役職 パストガバナー

氏名 志田洪顕 様

《卓話サマリー》



1. ロータリーの歴史

とにかく職業奉仕は難しい。私もよく分かりません。職業人の集まりですから職業経験から何かをことをなすことを為すのが最も早いと思いますが、何をすればいいのでしょうか。古い人は、「難しいことは考えるな、ただ自分の商売を熱心にやって、たくさん稼ぎ、税金を納めていれば社会に貢献できるのだとも言いました。こんな話ならロータリーに入る意味はなくなるのですが、「素晴らしい人の集まりだから絶対に有益だ」「入りで学べ、出て奉仕せよ」次々に耳慣れない単語の機関銃を浴びさせられると気の弱い私など、どうぞ宜しくお願いしますとなってしまいました。職業奉仕セミナーでは1905年、ポールハリスと3人の仲間により歴史を述べると大半を費やしますので割愛します。ただ決議23-34を記憶にとどめておいていただきたいです。

2. 1910年のシカゴ国際大会での議論

シェルドンは、職業倫理の重要性を強調し、腐敗や不正は排除しなければならないことを明らかにし、「最もよく仲間に奉仕する者、最も多く報いられる(He profits most who serves his fellows best)」ということが分かりましたと結んだそうです。またフランクコリンズがService not self(無私の奉仕)この精神を学ばせるのがよいと述べたそうです。その後、英文はService above self(超我の奉仕)に変わりました。要は自分を超えましょうということです。

これら2つの標語は、この大会でいずれも非公式のものとして採用され、公式の標語になったのは1950年のデロイト国際大会からです。1905年のスタートからわずか5年。

「寂しいから集まろう、お互いの商売を都合よくやろう」と集まった4人が「社交界ではだめだ」と一致して世の中をよくするために公衆トイレを寄付しようとなったわけです。

3. 決議23-34の私の評価

1905年2月23日にシカゴロータリーがスタートし1923年、20年もたたずして国際団体に発展し、そして組織の発展にはさらに高い目標を設定すべきと意思統一したスピードは評価されます。これが金儲け主義と決別し高い理念の職業奉仕を基盤に据えていたことは素晴らしいと感じます。1923年、まさに今年は満100年です。もう一度職業奉仕の真意を問いただしてみたいと思いませんか？決議23-34の評価は皆さんがそれぞれ試してみてください。ロータリーの根本原理となるか、どうか。このままでよいか、更新が必要か？私はこの決議がロータリーの素晴らしい証であると思います。しかし規則・条文は時代とともに古くなります。行動計画は時代とともに更新されなければならぬはずで、4つのテストが励行され、ポリオ撲滅運動が実を結ぶでしょう、重点項目、ロータリーの価値観もどんどん進化しています。最近ではEDIが叫ばれました。とにかく多様な世界に変化しています。100年を振り返り素晴らしい思想も行動で遅れては取り残されます。前に進みましょう

4. 日本ロータリアンの性格

戦前のロータリーは徳川さんや米山さんのような貴族、士族、名士階級が参加する団体でもあり、国際的にも評価の高い組織でした。静岡ロータリーも静岡、清水、中部地区

の名士の集まりでした。戦後の昭和30年、40年代が日本ロータリーの発展期でありその理論的背景に職業奉仕が活用されました。苦勞して税金を払うビジネスマンの心の裏付けとして精神論、哲学、倫理観、そして日本人の「〜道」の好みが職業奉仕論に熱中しました。ロータリーの理念でもある1923年の決議23—34から1/4世紀遅れであったからこそ夢中で追いかけたと感じます。しかし少し理念に偏り実践の行動を伴わなかった傾向を感じます。米山記念奨学会は直接職業奉仕に結び付けることはややこしいですが、この頃のロータリーの職業人の素晴らしい先見性の奉仕事業の実践でした。今大きく実を結んでいます。

5. 国際比較

欧米とは異なり陰徳を重視し寄付を卑下する風潮が歴史的に強かったようです。職業に関しても、世界では職業・稼ぐ行為・ビジネスを見下す文化が1/3を占めていました。中近東・欧米では宗教が基軸の社会のようです。残念ながら国際会議で職業奉仕が議論されることはほとんどないでしょう。

6. 職業奉仕無視への反感

国際ロータリーは民族固有の道徳・倫理観の議論は避ける傾向にあるようです。これが国際大会での日本人ロータリアンの違和感、脱退論に繋がってきたと思います。ここ10年の日本のロータリー研究会、地区大会等で職業奉仕議論は封印されてきました。20年以上のシニアロータリアンにとって職業奉仕無視の最近のロータリーに不満を感じているように思います。皆さま、ロータリーに入会した要因に職業奉仕論で説得された方は多いのではないのでしょうか。仕事熱心でよい、あなたの社業に有益だからとの説得が一般的だったからです。規定審議会でRI規約の職業奉仕条項がどんどん減っていくことに全国のシニアロータリーリーダーの皆さんの反感に繋がっています。

7. まとめ

オールドになっても、退職者になっても大手を振って健康のためにとうそぶいて出席できる。このことは驚くべきロータリーの魅力に感じてきました。自分の存在価値を実感するために、少額でもいいから寄付を続けたいと思っています。地域の清掃活動やスポーツ大会に参加することは足手まといになるからです。ガバナーを3回もやらせていた

だいたお蔭で全国のシニアリーダーと知り合いになっています。結構情報をお伝えできます。必要ならどうぞまたご利用ください。少しでもお役に立てれば幸いです。

《所感》

職業倫理というと難しく聞こえますが、基本となるのは自分の仕事に誇りを持ち、誠実に働き、世のため人のためになることだと理解しました。職業倫理は我々人間の社会において必要不可欠なもので原理原則として今後も大切にしていきたいと強く感じました。

《スマイル報告》

中島浩二会員（誕生日の御礼）

福島清志会員

飯塚潤会員入会おめでとうございます。これで色々な無茶振りが減りそうで期待しています。これからも共に成長していきましょう。

長田きみの会員

飯塚潤さん、入会ありがとうございます。近々、クラブ運営委員長の相原さんが歓迎会を開こう！その時はドンペリピンクを振る舞うよ！と言っていました。良かったですね。私ももちろん参加します。

杉田至弘会員

ミスターロータリー、志田洪顯パストガバナーの卓話に感謝し、併せて志田さんの益々のご健勝とご活躍を祈念しスマイルします。

青島隆晴会員

急なご依頼にもかかわらず、快くクラブフォーラムにて「職業奉仕」について卓話を頂きます志田様に感謝してスマイル致します。しっかり聞いて勉強します。

山下勝央会長

志田洪顯パストガバナーの卓話に感謝申し上げますスマイル致します。

（会報作成 原口 翼）